

国労本部電送 No. 214	発信日 2022年4月22日	発信 企画部	責任者	受領者
-------------------	-------------------	-----------	-----	-----

指示第72号
2022年4月22日

エリア本部
各 執行委員長 殿
地方本部

国鉄労働組合
中央執行委員長 松川 聡

「第93回中央・地方メーデー」をはじめとした 各種集会・行動への対応について

新型コロナウイルスの新規感染者数は大都市部で減少傾向となっている一方で、特に秋田県、福島県、新潟県、長野県、愛媛県、宮崎県、それに鹿児島県では、新規感染者数の1週間平均が「第6波」のピークを上回るなど、地域によっては予断を許さない状況となっている。

一昨日開かれた厚労省の専門家会合では、現在の感染者数の減少の要因として、追加のワクチン接種による免疫の獲得や、感染リスクの高い場所や場面を多くの人々が避ける傾向にあることなどが考えられるものの、オミクロン株のうち、より感染力が高いとされる「BA.2」への置き換わりが全国で8割程度まで進んでいると推定されることから、リバウンドに対する警戒が必要だと分析している。

こうしたなか、人の移動や会食の機会が増える5月の大型連休を迎えるにあたって、来る5月1日に中央・地方で予定されている「第93回メーデー」をはじめとする一連の各種集会・行動への対応について、あらためて以下の通りとするので、各級機関はその旨を組合員・家族に周知徹底すること。

記

1. 「第93回中央・地方メーデー」について

中央・地方における「第93回メーデー」に参加する場合において、集団感染予防の観点から「三つの密」（密集場所・密閉空間・密接場面）とならないよう十分注意を促すこと。その上で、参加にあたっては、組合員・家族の命と健康を守るため、マスク着用、手洗い・アルコール消毒、咳エチケットの徹底、身体的距離の確

保等の基本的感染対策を徹底するとともに体調不良や発熱・咳等の症状がある場合は参加を控えること。特に、メーデー終了後の組合行事としての大人数による懇親会などの開催は集団感染防止の観点から極力自粛するように呼びかけること。

2. 「改憲発議許さない！守ろう 平和といのちとくらし 2022 憲法大集会」について

本部 198 号（闘争指示第 51 号 4/4 付）で指示したように「5・3 憲法大集会」については、各級機関とも組合旗を持参しての代表参加とされたい。尚、集会の様子は当日、ライブ配信によるオンライン中継が行われるので極力視聴による取り組みを行うこと。また、各県・地域共闘等で独自に取り組まれる 5 月 3 日の憲法集会や学習会等についてもそれぞれ主催者や実行委員会の判断や指示に従い、参加する場合は新型コロナウイルス感染拡大防止に最大限務めること。

実行委員会公式ホームページ

<http://kenpou2020.jp/information/2022/>

オンライン中継サイト（ライブ配信）

<https://www.youtube.com/watch?v=ga8Bb30WiPI>

以 上